

「いまを生きる」、「グリーン・カード」の
ピーター・ウィアー監督が想いを込めた、魂のラブ・ストーリー。

FEARLESS

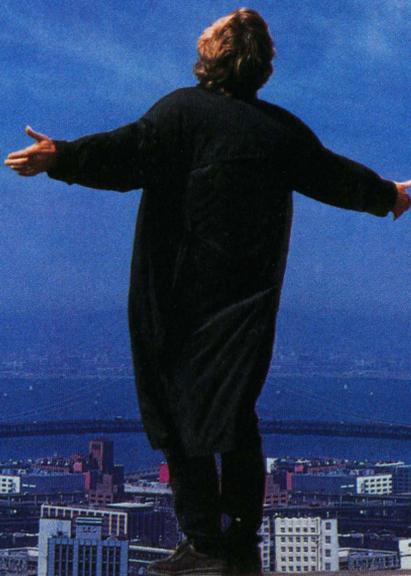
ひとりの男が

飛行機墜落事故から生還した。

しかし彼はもう、

以前の彼ではなかった。

フィアレス



ジェフ・ブリッジス イザベラ・ロッセリーニ ロージー・ペレス ジョン・タトゥーロ

ワーナー・ブラザーズ映画提供 ラブリック・クリーク・プロダクション ジェフ・ブリッジス「FEARLESS」イザベラ・ロッセリーニ ロージー・ペレス トム・ハルス ジョン・タトゥーロ
編集ウィリアム・アンダーソン、A.C.E. 美術ジョン・スタート 撮影アレン・デヴィアウ、A.S.C. 音楽モリス・ジャール 共同製作ロビン・フォーマン & ウィリアム・ピースリー
脚本/原作ラファエル・イクレシアス 製作ホーラ・ウィンスタイン & マーク・ローゼンバーク 監督ピーター・ウィアー オリジナル・サウンドトラック：WEA MUSIC K.K. 

フェイスレス

今までにない感動/
心の底に触れるような
魂のラヴ・ストーリー。

飛行機墜落事故で死に直面し、それを乗り越えた瞬間、男の心からは生きることへの恐れも同時に消え去った。身も心も解放されていくような恍惚感の中で、彼は自分自身と人生を祝福し、澄んだ魂に呼応する何かを求めて街をさまよう。そして、彼の魂の呼びかけに応えた、もうひとつの魂があった…

一見、不可解な主人公の行動を通し、ドラマは、人は死を恐れながら生きているのか、それとも生を謳歌しながら生きているのかを問いかける。時にポジティブに、時に神秘的に命の輝きを描き出した感動の異色作だ。

魂のふれあいを見つめ続ける
ピーター・ウィアー監督の
最新作。

都会人がジャングルに理想郷を求める「モスキート・コースト」、学生と社会のふれあいを描いた「いまを生きる」、NYに住むインテリ女性とフランス人芸術家の恋を描いた「グリーン・カード」と、題材は様々であるが、常に相反するもの同士の魂のふれあいをテーマにしているピーター・ウィアー監督。今回の題材は「生と死」という誰もが、いつかは直面する問題である。重くならがちなこの題材をさわやかな印象の映像で描き、心の底に触れるような感動を見事に表現している。オーストラリア映画出身監督のトップを切る存在として本作品でもその実力を十分に発揮した。

本年度アカデミー助演女優賞に
ノミネートされたロージー・ペレス
他、観客を引き込む個性派俳優
の競演。

本作品の魅力のひとつは、俳優陣にある。特に飛行機事故から奇跡的に生還したが、その後「生きること」がどういふことなのかわからなくなり、苦悩する主人公マックスを見事に演じた切ったジェフ・ブリッジスと、愛する息子を亡くし、生きる希望を失った若い母親役に挑戦したロージー・ペレスの演技は、胸に迫るものがある。また、別人のようになった夫に戸惑う妻ローラ役を演じたイザベラ・ロッセリーニのエレガントな強さは、多くの女性を魅了するだろう。

更に、飛行機事故で精神的ショックを受けたマックスとローラを何とか助けようとするセラピスト役に「バートン・フィンク」のジョン・タウーロ、その俗っぽい人柄が時におかしさを誘う三流弁護士ブルスタイン役には「アマテウス」のトム・ハルスと異色の演技派俳優がしっかりと脇を固めている。



近日ロードショー!

特別鑑賞券(一般 ¥1400/ペア券 ¥2600)発売中

歌舞伎町・ミラノ座右隣4F

シネマミラノ 03 (3200) 0888

連日 11:50 2:10 4:30 6:50